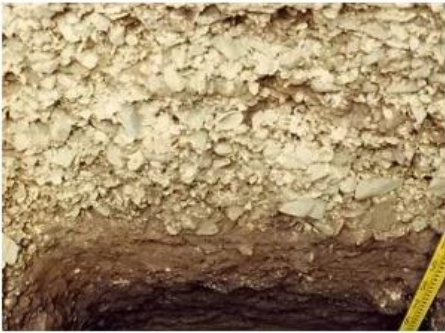


西日本屈指の貝塚密集地域で最大の貝塚  
彦崎貝塚



指定区分	国指定史跡
読みかた	ひこざきかいづか
所在地	岡山市南区彦崎
指定年月日	平成20年3月28日
解説	縄文時代前期から晩期にかけて、形成された大規模な貝塚。遺存状態が良好で、低湿地部を含めた遺跡全体の構造や変遷が判明した。発掘調査では、南北100m、東西80mに及ぶ縄文時代前期の貝塚を最大として、晩期まで同一地点に重層的に形成された厚さ1.7mの貝層が確認された。この他に、25体の屈葬埋葬人骨をはじめ、舌状丘陵先端部の低湿地部ではドングリ貯蔵穴も確認された。また、出土遺物からは当時の生活様式や生態系の復元が可能になり、石器石材からは瀬戸内海を越えた交流も確認でき、西日本の中でも特に重要な貝塚として位置付けることができる。
アクセス方法	JR彦崎駅から約200m
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	彦崎貝塚
よみかた	ひこざきかいづか
しょざいち (所在地)	岡山市南区彦崎
していたひ (指定した日)	平成20年3月28日
せつめい	西日本でも最大級(さいだいきゅう)の貝塚(かいづか)です。縄文時代(じょうもんじだい)のはじめごろにつくられてから、およそ3000年も使われていました。ここでは貝がらや動物(どうぶつ)の骨(ほね)などといったしよに、土器(どき)や石器(せっき)のなどがたくさん残(のこ)っていました。また、たくさんのお墓(はか)とともに人骨(じんこつ)が多くつかっています。